



湖南省  
議会だより

令和8年4月21日発行

# さわやか ジャーナル



2月臨時会

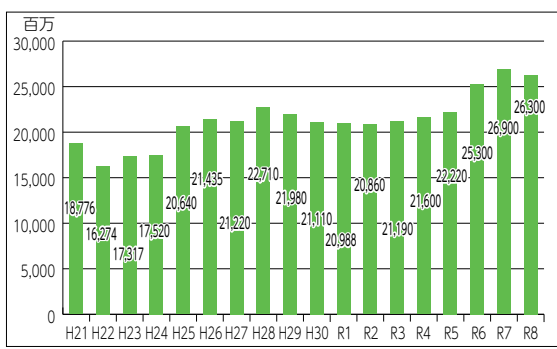
## PICK UP

- ・物価高騰対策くらし応援事業として  
**市民一人につき6,000円の  
湖南くらし応援券を交付決定!**  
(4月初旬から順次配送)
- ・昨年に引き続き  
**省工ネ家電普及促進事業補助金  
総額4,000万円**

## 3月定例会 令和8年度 一般会計当初予算

# 263億円

(対前年度当初比 ▲6億円、▲2.2%)



### 主な投資的事業

- ・庁舎周辺整備事業
  - 庁舎整備設計業務委託等 1億3,858万1千円
- ・下田こども園改築事業
  - 工事費等 1億8,015万9千円
- ・小中学校大型提示装置配置事業
  - 電子黒板機能付き大型提示装置の整備 1億2,632万4千円
- ・雨山体育館長寿命化改修事業
  - 長寿命化への施設改修 6億4,473万円
- ・甲西文化ホール改修事業
  - 長寿命化への施設改修 7億8,143万7千円

## 代表質問 6会派

庁舎建て替えの選挙・住民投票、議会決定無し  
市民とつなぐネット 坂田 政富 ◀P11

施政方針と教育方針  
自由民主党湖南省議団 小林 義典 ◀P12

施政方針・教育方針について  
こなんの未来 奥村 幹郎 ◀P12

令和8年度施政方針・教育方針について問う  
会派 Kiku 永田 誠治 ◀P13

施政方針・教育方針について問う  
湖南維新の会 澤田 厚 ◀P13

令和8年度施政方針・教育方針から  
湖南省明党議員団 副田 悦子 ◀P14

## 一般質問 11名

ごみステーションについて  
公共交通について 森 すなお ◀P14

西庁舎周辺施設整備事業の財源計画について  
湖南省の所有財産の有効活用と今後について  
湖南省自治会等の組織の実態と課題について 寺元 正幸 ◀P15

公共施設の利用について  
選挙管理について  
審議会委員の報酬について 上野 顕介 ◀P15

市有地、また市管理地の草木について  
転入される外国人について 田中雄二郎 ◀P16

病児保育について  
ゴミの問題と安定型産業廃棄物最終処分場について  
学童保育事業について  
移動支援について 松井けい子 ◀P16

湖南省雪寒時の対応、対策について  
湖南省で行われる選挙運営について 東良 一成 ◀P17

いじめ問題について 曾我部一帆 ◀P17

市道十二坊線積雪時の通行止めについて  
地域医療について  
入札制度について 堀田 繁樹 ◀P18

労働者不足の対策について  
公共交通について 東森 徹平 ◀P18

定住人口対策と交流人口対策について  
東庁舎周辺整備計画について 藤川みゆき ◀P19

体験学習について  
地域医療について 松原 栄樹 ◀P19

# ハイライト

## 2月臨時会

令和7年度湖南省一般会計補正予算

- 入 物価高騰対応重点支援  
地方創生臨時交付金 4億1,487万8千円 等
- 出 物価高騰対策くらし応援事業  
3億5,330万円 等

## 3月定例会

令和7年度湖南省一般会計補正予算

- 入 普通交付税 3億2,570万4千円  
減収補てん債 2億5,730万円  
市民税法人税割 △2億円  
財政調整基金繰入金  
△7億8,495万1千円 等
- 出 障がい福祉サービス費 1億2,786万5千円  
減債基金積立 5,259万8千円  
システム標準化移行事業 △8,853万円  
湖南中央消防署用地造成工事  
△1億7,400万円 等

令和8年度湖南省一般会計当初予算（表紙からの続き）

- ・大人の社会見学事業（産業ツーリズム事業）  
見学+体験のオープンファクトリー形式 165万円
- ・地方創生人財活躍事業  
人財活躍支援業務委託 600万円
- ・公立保育所等ICT化事業  
保育ICTシステム導入委託 2,031万6千円
- ・移動支援整備事業  
産官共創プラットフォーム構築事業 550万円  
住民主体の移動支援モデル事業 275万円  
地域公共交通グランドデザイン策定事業  
82万5千円 等
- ・下田まちづくりセンター新築事業  
工事実施設計業務委託 3,200万円
- ・公園整備事業  
上街道公園整備工事 6,000万円 等

「身近な議会」に!! 議長 細川 ゆかり



昨年11月10日に議長を拝命して以来、多くの場にお招きいただき、市民の皆さまの声を直接触れる機会が増えました。地域の課題や将来への思いを伺うたびに、議会が果たすべき役割の重さと、市民の皆さまとともに歩む議会の重要性を改めて実感しております。

今回の3月定例会では、湖南省が重点的に取り組む子育て支援や教育環境の充実、防災・減災対策の強化、地域交通の維持、行政のデジタル化推進など、多岐にわたる議案を審議しました。人口構造の変化や社会情勢の不確実性が増す中、これらの政策は市民生活を支える基盤であり、議会としても慎重に議論を重ねてまいりました。

また、地域経済の活性化に向けた産業振興策や、市民の皆さまから寄せられた声を踏まえながら審議を行いました。市税収入約97億9千万円を含む自主財源は121億5千万円弱、一般会計予算は過去2番目となる263億円規模となりました。そして、令和8年度当初予算が成立しております。詳細は広報こなんや本号の議会だよりをご覧ください。

今後も、議会だよりやインターネット中継などを通じて議会活動を分かりやすく発信し、市民の皆さまに信頼され、身近に感じていただける議会を目指して取り組んでまいります。引き続き、変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

2月議会臨時会 議決結果

分類	議案名等	結果	分類	議案名等	結果
承認	承認第1号 専決処分の承認を求めることについて (専決第1号令和7年度湖南省一般会計補正予算(第7号)) 歳入歳出それぞれ3,546万1千円を追加、補正後の額を280億8,366万4千円とするもの。	◎	補正予算	議案第1号 令和7年度湖南省一般会計補正予算(第8号) 【歳入歳出】4億6,297万3千円を追加 【補正後の額】285億4,663万7千円	◎

3月議会定例会 議決結果

分類	議案名等	結果	分類	議案名等	結果
条例	議案第8号 湖南省福祉医療費助成条例及び湖南省老人福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について 国が医療DXの一環として実施する「自治体・医療機関等をつなぐ情報連携システム(PMH)」の先行実施事業に採択されたことを受けて、医療費助成対象者が、マイナンバーカードを用いて保険医療機関等を受診する際の受給券の取扱いについて明確にするため、所要の改正を行うもの。	○	条例	議案第2号 湖南省図書館基本計画策定委員会設置条例の制定について 図書館基本計画の策定にあたり、図書館基本計画策定委員会の組織、運営その他必要な事項を定めるため、条例の制定を行うもの。	◎
	議案第9号 湖南省介護保険条例の一部を改正する条例の制定について 令和7年度税制改正による介護保険料への影響を防ぐため、介護保険法施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、令和8年度の介護保険料の算定に関する事項等について、所要の改正を行うもの。	○		議案第3号 湖南省特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について 子ども子育て支援法の改正により令和8年4月1日から乳児等のための支援給付制度が本格的に実施されることに伴い、事業者がその運営に関して確保すべき必要な基準を定めるため、条例の制定を行うもの。	◎
	議案第10号 湖南省消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について 非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令による非常勤消防団員等に対する損害補償に係る補償基礎額および扶養に係る補償基礎額の加算額の改定に伴い、所要の改正を行うもの。	◎		議案第4号 湖南省事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について 地方自治法第158条第1項後段の規定に基づき市長の権限に属する事務を分掌させるために設置した部について、分掌事務の改正を行うもの。	◎
	議案第30号 湖南省国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について 平成30年4月1日に施行された「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」に基づく「第3期滋賀県国民健康保険運営方針」において、令和9年度に保険税(料)の水準を統一することとなっていることから、統一に向けて、段階的に保険税を改定するための所要の改正を行うもの。	○		議案第5号 湖南省職員の給与に関する条例及び湖南省会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 人事院勧告に基づく国家公務員の給与改定等に準じて、職員および会計年度任用職員の給与改定を行うため、所要の改正を行うもの。	◎
	補正予算	議案第11号 令和7年度湖南省一般会計補正予算(第9号) 【歳入歳出】14億5,083万9千円を減額 【補正後の額】270億9,579万8千円		○	議案第6号 湖南省奨学資金給付条例の一部を改正する条例の制定について 奨学資金の受給資格および給付の額等に関する事項について、所要の改正を行うもの。
			議案第7号 湖南省立学校施設開放条例の一部を改正する条例の制定について 学校開放を行う施設の空調設備利用に係る使用料を規定するため、条例の改正を行うもの。	○	

分類	議案名等	結果
当初予算	議案第23号 令和8年度湖南省水道事業会計予算 【収益的収入および支出】 収入 14億8,924万円 支出 14億7,722万4千円 【資本的収入および支出】 収入 2億9,031万8千円 支出 5億205万2千円	○
	議案第24号 令和8年度湖南省下水道事業会計予算 【収益的収入および支出】 収入 17億5,212万2千円 支出 17億5,138万1千円 【資本的収入および支出】 収入 14億2,981万2千円 支出 20億5,971万2千円	○
その他	議案第25号 指定管理者の指定について(湖南省水戸学童保育所) 令和8年4月1日から令和11年3月31日までの期間、湖南省水戸学童保育所の指定管理者として特定非営利活動法人星の子クラブを指定することについて、議会の議決を求めるもの。	◎
	議案第26号 指定管理者の指定について(湖南省岩根学童保育所) 令和8年4月1日から令和11年3月31日までの期間、湖南省岩根学童保育所の指定管理者として一般社団法人こなんがくどう岩根を指定することについて、議会の議決を求めるもの。	◎
	議案第27号 第五次湖南省行政改革大綱の策定について 令和7年度で第四次湖南省行政改革大綱の計画期間が終了することから、引き続き行財政改革に取り組むため第五次湖南省行政改革大綱を策定するもの。	○
	議案第28号 市道路線の認定について 認定路線 2路線	◎
	議案第29号 市道路線の変更について 変更路線 2路線	◎
請願	請願第1号 東庁舎・西庁舎を耐震補強と、リノベーションで長寿命化を図る請願書	×
意見書	意見書第1号 南土山地先の安定型産業廃棄物最終処分場建設計画について 厳格な審査と情報公開の徹底を求める意見書	◎

分類	議案名等	結果
補正予算	議案第12号 令和7年度湖南省国民健康保険特別会計補正予算(第4号) 【歳入歳出】1,468万5千円を減額 【補正後の額】55億931万9千円	○
	議案第13号 令和7年度湖南省国民健康保険診療所特別会計補正予算(第4号) 【歳入歳出】985万6千円を減額 【補正後の額】4億3,861万6千円	○
	議案第14号 令和7年度湖南省後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) 【歳入歳出】それぞれ1億832万2千円を追加 【補正後の額】15億534万2千円	○
	議案第15号 令和7年度湖南省介護保険特別会計補正予算(第4号) 【歳入歳出】5,365万3千円を減額 【補正後の額】41億6,386万7千円	○
	議案第16号 令和7年度湖南省訪問看護ステーション事業特別会計補正予算(第3号) 【歳入歳出】それぞれ増減額なし 【総額】7,306万9千円	◎
当初予算	議案第17号 令和8年度湖南省一般会計予算 【歳入歳出予算額】263億円	○
	議案第18号 令和8年度湖南省国民健康保険特別会計予算 【歳入歳出予算額】54億4,020万8千円	○
	議案第19号 令和8年度湖南省国民健康保険診療所特別会計予算 【歳入歳出予算額】4億4,714万7千円	○
	議案第20号 令和8年度湖南省後期高齢者医療特別会計予算 【歳入歳出予算額】14億9,732万6千円	○
	議案第21号 令和8年度湖南省介護保険特別会計予算 【歳入歳出予算額】40億4,134万3千円	○
	議案第22号 令和8年度湖南省訪問看護ステーション事業特別会計予算 【歳入歳出予算額】6,010万円	◎

◎◎全会一致で原案可決 ○賛成多数で原案可決 ×賛成少数で不採択

## 令和8年3月湖南省議会定例会 賛否が分かれた案件一覧

○：賛成 ×：反対

議案番号	件名	議員																	
		会派 Kiku				自由民主党 湖南省議団		市民とくぐり ネット		湖南省公明党議員団		こなんの未来		湖南維新の会		無党派			
		永田 誠治	森 淳	松原 栄樹	田中雄二郎	小林 義典	上野 顕介	曾我部一帆	坂田 政富	寺元 正幸	副田 悦子	奥村 幹郎	堀田 繁樹	澤田 厚	東良 一成	松井 圭子	藤川みゆき	東森 徹平	
議案第7号	湖南省立学校施設開放条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	湖南省福祉医療費助成条例及び湖南省老人福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	湖南省介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和7年度湖南省一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和7年度湖南省国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	令和7年度湖南省国民健康保険診療所特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	令和7年度湖南省後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	令和7年度湖南省介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	令和8年度湖南省一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第18号	令和8年度湖南省国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第19号	令和8年度湖南省国民健康保険診療所特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	令和8年度湖南省後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第21号	令和8年度湖南省介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第23号	令和8年度湖南省水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	令和8年度湖南省下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	第五次湖南省行政改革大綱の策定について	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
議案第30号	湖南省国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○
請願第1号	東庁舎・西庁舎を耐震補強と、リノベーションで長寿命化を図る請願書	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	欠	○	×	○
意見書第1号	南土山地先の安定型産業廃棄物最終処分場建設計画について 厳格な審査と情報公開の徹底を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○

※議長は採決に加わりません。

# 本会議での議案の討論

## ●議案第17号

### 令和8年度湖南省一般会計予算

#### 寺元 正幸議員

反対

本年度一般会計予算263億円、市債残高市民一人当たり40万1303円と示されています。大きな起債事業が計画されています。125億の東庁舎建て替えは将来世代に負担が残ります。よって本案に反対します。

#### 森 すなお議員

賛成

歳入において財源確保の努力が見受けられ、歳出は抑制しつつも、市民のために必要な事業の取り組みや、重点事業の庁舎新築や図書館基本計画などへの取り組みなど、市民の皆様にとって非常に重要な予算です。

#### 澤田 厚議員

賛成

本予算は、市民生活を支える行政サービスを着実に実施するために必要な予算であり、本市の財政状況の範囲内で適切に編成されたもので、一部事業のみを理由に、全体予算を否決することは議会として慎重であるべきと考えます。

#### 坂田 政富議員

反対

125億円庁舎建て替えへ「庁舎整備事業」の予算約1億3800万円の予算化。市財政に影響、借金返しに追われ暮らし応援や、コミュニティバス、補聴器補助等への予算配分実現が遠のく。

#### 小林 義典議員

賛成

反対者の主な主張は、東庁舎周辺整備事業（実施設計費約1億3,800万円）が基金取り崩しと市債増（約216億円超）を招き、東庁舎改修（50億円以内）で代替可能との点です。これは短期的な財政負担のみを強調し、長期的な行政基盤強化を見落としています。

## ●議案第18号

### 令和8年度湖南省国民健康保険特別会計予算

#### 田中 雄二郎議員

賛成

物価高騰が続く中での負担増は被保険者にとって決して小さな問題ではありませんが、収納対策や医療費適正化による歳出抑制策、その他健康づくりの取り組み等も盛り込まれているため適切な予算であると考えます。

## ●議案第27号

### 第五次湖南省行政改革大綱の策定について

#### 坂田 政富議員

反対

公共施設等総合管理計画で、石部診療所の病床廃止、サッカー場・野球場を民間に売却等進めてきた。小規模多機能自治は行政の仕事を地域に丸投げで、市民の願う改革でない。

#### 上野 顕介議員

賛成

この大綱は法律上の策定義務はないが、ほとんどの市町で策定されているのは、この大綱に基づく計画等が市の運営上必要とする事業の国県補助金等に必要であるからであり、本議案の策定に賛成する。

## ●議案第30号

### 湖南省国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

#### 寺元 正幸議員

反対

国保税の改正は、2018年度から、国が「国保の都道府県化を」したことです。令和9年度県は統一化に向け標準保険税を示しています。また医療給付とは別の「子ども・子育て支援金」が上乗せされます。本案に反対します。

#### 上野 顕介議員

賛成

令和9年に滋賀県が健康保険料の県下統一を実施するにあたり、各市とも段階的に保険料を改定しているが、本市は一気に引き上げずに特定目的基金を取り崩して計画的に市民生活を支えてきた経緯をふまえて賛成する。

#### 坂田 政富議員

反対

国保税を県下統一化による税の引き上げは、ガソリン、諸物価が高騰し、暮らしが大変です。滞納する方が増えます。「高い国保税を引き下げて」の声に応えるべきです。

#### 田中 雄二郎議員

賛成

県と市で安定的な運営を図る上で被保険者の負担の公平性は重要であり、保険料水準の統一は湖南省にとってメリットです。持続可能な医療保険制度を守るための改正であり理解の得られる内容であると判断いたします。

意見書第1号

南土山地先の安定型産業廃棄物最終処分場建設計画について  
 厳格な審査と情報公開の徹底を求める意見書

滋賀県甲賀市土山町南土山地先において、民間企業による面積約26.0ha、埋め立て容量約215万m<sup>3</sup>の県内最大規模の安定型産業廃棄物最終処分場の建設が計画されている。

本計画の埋め立て廃棄物の種類は、廃プラスチック類・ガラス陶器くず・がれき類（コンクリートの破片その他これに類する不要物）で、石綿含有産業廃棄物も含まれるとされている。

建設予定地は野洲川の支流田村川その支流次郎九郎川流域に位置し、その浸透水は野洲川を経て琵琶湖へ流入する。該当処分場が建設された場合、その影響は現地にとどまらず、飲料水や農業用水として野洲川・琵琶湖の水を利用する湖南市を含む下流域の住民にとっても重大な懸念事項である。

野洲川水系及び琵琶湖等の安全で安心な水環境を将来にわたり守るため、本件産業廃棄物最終処分場計画の審査にあたっては、慎重で厳格な審査と情報公開の対応を求めます。

以上地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先：滋賀県知事

【全会一致で可決】

請願第1号

東庁舎 西庁舎を耐震補強と、リノベーションで長寿命化を図る請願書

東庁舎建て替え計画は、谷畑市政78億円、生田市政、ライフサイクルコスト、102億円、松浦市政は125億円の建て替え事業費を示されてきました。

行政は建て替えが先にあって、これまで市民の声を無視し、選挙や住民投票で市民に問うことをしないで、建て替えに誘導する取り組みを進め、また「建て替えは決まったもの」と、市民に説明をしてきました。ところが、昨年12月市議会では、東庁舎建て替えの「庁舎整備基本計画」は、「議会の決定、議決そのものは頂いてございません」と答弁し、東庁舎建て替えの議決していないことが明らかになり、これまでの「建て替えは決定した」の行政説明は、事実と違う説明であった事が明らかになりました。

又、建て替えへ誘導する不公平な資料提出について、「21億円の耐震補強の資料をお示しできなかった事は、申し訳ございません」と答弁、耐震補強の資料を出せなかった事も認めました。

令和8年度予算編成方針では、「庁舎周辺整備事業」を最重点事業と位置づけるとして、「多額の投資的経費が必要となり、・・・社会保障費の増加を抑制するための施策を確立していくことが大きな課題」としています。

「小学校給食の無償化や、コミュニティーバスの充実、補聴器購入補助などに税金を使ってほしい」「暮らしが大変な時税金の無駄遣いしないで、くらしを応援してほしい」など市民の願いや要望は、後回しにされるのではないかなど心配の声が上がっています。

東庁舎建て替えを急ぎ、中央消防署移転事業は、近隣住民に説明もしないで、ボウリング工事等進め、中央消防署の移転事業が進められなくなり、大きな損失を生む結果をつくり出しました。市民の声も聞かず、工事を進めてきたところに問題があります。行政が市民の声を真摯に受け留め反省することが求められています。「使える庁舎をつぶすのはもったいない。なぜ、建て替えか」、「21億円で出来る耐震補強、リノベーションの取り組みをなぜしないのか」東庁舎の建て替え計画をやめて、東西庁舎は潰さず耐震補強で長寿命化を図り、東西庁舎の行政機能を充実されることを願っています。

請願事項

- 1 東庁舎・西庁舎の耐震補強と、リノベーションで長寿命化を諮ることを求めます。
- 2 行政機能の一極集中計画を改め、各地域の窓口業務等行政機能の充実を求めます。

【賛成少数で不採択】

請願書の討論

●請願第1号

**副田 悦子議員** **反対**  
 一方の意見を無視するといったことではなく、様々な意見を財政面での経費やサイクルコスト等の課題に重ね解決していく姿勢は評価していくべきものだと考え、一方的な請願書の内容に反対します。

**森 すなお議員** **反対**  
 歴代の市長は建て替えありきではなくタウンミーティング等で市民の声を聴いています。提案の法的根拠の無い庁舎計画ですので、議会は特別委員会で慎重審査の上、新築を確認し、本会議に報告され、全議員が了承しています。

**上野 顕介議員** **反対**  
 耐震補強すべきという意見は新築は財政負担が大きすぎるという心配も背景にあると思う。市の新築実質負担は約90億円で、市税収入は年90億円以上。これは家計に例えると年収400万円の人が400万円の家を建てることくらい負担。

**坂田 政富議員** **賛成**  
 「庁舎は耐震補強、リノベーションで長寿命化を」「暮らしが大変、新築庁舎より、暮らしの応援を」「地球温暖化防止へ、大量産業廃棄物を出す庁舎のスクラップ計画を中止すべき」が、市民の真の声です。請願に賛成いたします。

**寺元 正幸議員** **賛成**  
 東庁舎は市民の貴重な財産です。次世代に残していくのは、現世代の責任です。災害対応には別の建物で充分です。現庁舎は耐震補強リノベーションで是非残してください。本案に賛成します。

**藤川 みゆき議員** **賛成**  
 庁舎建設という一大事業はこれまで紆余曲折あり、賛否があっても当然であることから、請願もタウンミーティングやワークショップと同様に、様々な市民の方の意見を聞く大切な機会の一つと捉えて賛成とします。

令和8年度予算審議

**一般会計 263億円**      特別会計 (5会計) 114億8612万4千円  
 企業会計 (2会計) 57億9036万9千円  
 令和8年度一般会計・特別会計・企業会計予算案は、予算常任委員会で慎重に審査を行いました。

令和8年度当初予算 (単位:千円)

会計名		予算額	前年度予算	増減率(%)	
一般会計		26,300,000	26,900,000	▲2.2	
特別会計	国民健康保険特別会計	5,440,208	5,382,031	1.1	
	国民健康保険診療所特別会計	447,147	445,350	0.4	
	後期高齢者医療特別会計	1,497,326	1,357,508	10.3	
	介護保険特別会計	4,041,343	4,023,943	0.4	
	訪問看護ステーション事業特別会計	60,100	55,636	8.0	
	小計	11,486,124	11,264,468	2.0	
企業会計	水道事業会計	収益的収入	1,489,240	1,476,213	0.9
		収益的支出	1,477,224	1,442,412	2.4
	資本的会計	収入	290,318	296,071	▲1.9
		支出	502,052	568,125	▲11.6
	下水道事業会計	収益的収入	1,752,122	1,707,014	2.6
		収益的支出	1,751,381	1,682,295	4.1
		資本的収入	1,429,812	1,256,340	13.8
		資本的支出	2,059,712	1,896,449	8.6
	小計	5,790,369	5,589,281	3.6	
	小計	43,576,493	43,753,749	▲0.4	

予算  
常任委員会

付託案件 14件

7年補正予算審査報告

議案第11号

補正予算全体の不用総額は。

14億5000万円

の減額となります。

国の追加補正による増加分、増額は。

国の補正予算追加分は、2420万円となります。

中央消防署用地造成工事1億7400万円減額と建替え事業損失・経緯と責任、措置と契約内容説明は。

中央消防署の用地造成工事、用地取得を断念したことで、全て

減額です。今回増額で

500万円の内訳は広告看板の移転、農機具小屋の設置場所の造成などの費用を500万円を計上いたしました。

賛成多数で可決

議案第12号

当検診の受診者の見込み減ですが過去の推移は。

令和6年度は2950名でしたが令和7年度は3020名。

賛成多数で可決

議案第13号

機材のリース料の不用額の減額とありますが何故出たのか。

酸素濃縮器のリース料ですが、年度によって患者数が読めず予算を多めに頂いております。

賛成多数で可決

議案第14号

議案第15号

いずれも質疑討論なく

賛成多数で可決

議案第16号

質疑討論なく

賛成多数で可決

8年度一般会計予算

議案第17号

地方交付税、前年度より2億4000万円の減。特別交付税が減り、今後の要望による増額を見込まれているのか。

特別交付税は3月末に確定します。要望がどれだけ反映されるか分かりづらい状況です。特別交付税は減少しております。4億円を要望しました。

特別交付税4億円

要望されたが予算では

2億円。令和8年度に

2億6000万円プラスで、これを含めて

4億円の要望なのか。

2億6000万円

を含めて4億円を要望

しております。

自主財源の説明では、

121億4831万5000円前年度より

プラス0.7%約8500万円の増額ですが、

自主財源比率が46.2%ということでは

の推移と現状の評価は

どのように考えておられるか。

投資財源をどれだけ

実施するか地方債に

依存することで比率は

大きく変わります。依

存財源に国庫支出金も

含まれ、支出金を活用

して事業の出来が見られ

ますが、この数字が

適正か評価は難しいで

す。自主財源の数字の

推移を注視する必要が

あると思います。

市の依存財源と自主

財源の割合で依存財

源が増えれば自主財源

が減ることです。自主財

源が多いほどいいと思

います。地方交付税、特

に特別交付税を増額し

て、普通交付税は一定

算式により出ますので

特別交付税を上げてい

きたい。補助金なり交

付金の増額は全て依存

財源を増やすことで、

自主財源は減っていく

とバランスは非常に重

要になると思います。

その辺の考えは。

バランスはどの数

字が適正か大変難しい

比率です。自主財源の

数字がどう推移してい

くか大事でそこが減る

と税収となり得られる

お金が減ることになり

自主財源の比率ではな

く、数字の方がどう推

移していくか特に注視

して見ていく必要があ

ります。

賛成多数で可決

議案第18号

外国人通訳の方1名とありますが、ベトナム語の方ですか。

昨年と同様に見込んでおります。基本は

ポルトガル語の通訳を

雇っております。

賛成多数で可決

議案第19号

岩根診療所の医師が確保できず閉院の方針をされたが医師を確保する努力が必要であると

思うか。

3年間医師の確保

に取り組みました、本

来は1年で廃止届が必

要な状況です。文章は

5年間保存が必要であ

ることから、5年間の

維持管理費は今現在継

続しております。

賛成多数で可決

議案第20号

質疑討論なく

賛成多数で可決

議案第21号

**問** 成年後見制度の利用支援事業を増額された理由は。

**答** 後見人の報酬負担をいらないするもので身寄りのない高齢者が非常に増えており7年度5人8年度9人分計上しました。

議案第22号

**問** 訪問看護ステーションの利用実績が大幅

に増えて1名増員か欠員で増員か、利用者の増減に絡んでの増員か。

**答** 正規職員が1名増えた理由は、今まで会計年度の職員さんでしていましたが、今回は正規職員で対応との人事課との協議の結果令和8年度予算を上げさせていただきました。

議案第23号

**賛成多数で可決**

質疑討論はなく

**賛成多数で可決**

議案第24号

**問** 地震の時に液状化によるマンホールの浮上対策工事は毎年されているのか。

**答** 地震対策のマンホール液状化については昨年度に管路を進めさせていただきました。

**賛成多数で可決**

**総務  
常任委員会**

付託案件 7件  
行政視察

議案第4号

**全員賛成で可決**

議案第5号

**全員賛成で可決**

議案第10号

**全員賛成で可決**

議案第25号

**問** 他所での不適切事

案もあり、市として指定管理者に人件費基準を設け、再発防止を徹底する考えはあるのか。

**答** 今後は、指定管理者の資金用途を調査し監査体制も強化するという方針を示します。

議案第26号

**全員賛成で可決**

**問** 審査方式で指定管

理者公募選定委員会において、都度、委員長に専決でお願いすることを決めた上で実施していることで、委員会を選定する場合もあるということと捉えていいか。

**答** その通りです。

**全員賛成で可決**

議案第27号

**問** 市が直面する課題

に多文化共生に向けた取り組みが必要と記載があるが、課題整理す

る中では1つだけを言うのではなく、総合的に取り組むとの記載の

ほうが良くないか。

**答** 書き方については今後、十分市民に分かりやすくしていきたいと思えます。

議案第30号

**賛成多数で可決**

**問** 他市町の傾向はど

うなっているのか。

**答** 現在19市町中10市3町が県統一の標準保険料を進めており、残り6市が令和11年度を目途に進めています。

**問** 保険料の決定プロセスと市民意見の反映

は。

不可は別ですが、例えば公共施設の名前を

付与する命名権ネーミングライツの募集などです。

**問** 他市町の傾向はど

うなっているのか。

**答** 現在19市町中10市3町が県統一の標準保険料を進めており、残り6市が令和11年度を目途に進めています。

**問** 保険料の決定プロセスと市民意見の反映

は。

また自治体で設置することが定められている。

国民健康保険事業の運営に関する協議会が存在し、被保険者の代表や市民の方も入っておられ、そこでの答申を受け市長が決定し、議会へと上程されており、

そちらでも都度説明をさせていただいております。

**賛成多数で可決**

**行政視察**

日時 1月29日～30日

静岡県沼津市

沼津市の防災・減災

対策について

静岡県焼津市

新庁舎建設事業について



## 福祉教育 常任委員会

付託案件 6件  
行政視察

### 議案第2号

執行部からは、湖南市の今後の公共施設の方向性を示した計画である湖南省公共施設等管理計画個別施設計画を踏まえ、今後の中長期的な図書館運営の方向性を定める「図書館基本計画」の策定に向けた「湖南省図書館基本計画策定委員会」の設置についての説明がありました。

**問** 策定委員会の委員のメンバー構成について

**答** 図書館協議会のメンバーは、館長の諮問機関のため、市民の方

を中心に選定していますが、基本計画の委員の選定は、学識経験者や専門知識のある外部委員の方に入ってもらいたいと思います。

**問** 委員が10人以内とあるがその内訳は

**答** 学識経験者や大学教授から2名、学校教育、社会教育から2名、家庭教育から2名あとは公募とします。

### 全員賛成で可決

### 議案第3号

**問** 一時預かりと誰でも通園制度の違いについて

**答** 一時預かりについては、保護者のため、保育が必要な子のための事業で、誰でも通園の制度については、子供の成長発育のための事業です。

**問** 体制に問題はないのかについて

### 全員賛成で可決

**答** 体制については、副園長級の先生1名と会計年度任用職員保育士1名を配置します。

### 全員賛成で可決

### 議案第6号

**問** この奉仕作業とはどのようなものか。

**答** 二十歳のつどいや教育支援課が主催する事業のボランティア、図書館の廃棄のラベル張り、学童保育のボランティア、地域の清掃活動などです。

### 全員賛成で可決

### 議案第7号

**問** 利用団体はどれくらいありますか。

**答** 98団体登録があります。

**問** 利用に際しての周知は。

**答** 議会が終われば丁寧に周知して、減免に関しても検討します。

### 議案第8号

### 賛成多数で可決

### 議案第9号

**問** 令和8年度で、減免対象者がどれくらいおられ、影響される金額について。

**答** 対象者の人数は、現時点ではわかりませんが、国の情報では金額にして1%ぐらいと聞いています。

### 全員賛成で可決

### 行政視察

日時 1月28日～29日

### 兵庫県明石市

- ・校内フリースペースについて
- ・あかし里親100%プロジェクトについて

### 広島県尾道市

子どもの居場所支援事業(子ども第三の居場所)について

## 産業経済 常任委員会

付託案件 2件  
行政視察

### 議案第28号

市道路線の認定について

### 全員賛成で可決

### 議案第29号

市道路線の変更について

### 全員賛成で可決

### 行政視察

日時 1月20日～21日

### 徳島県美馬市

**空き家対策**  
・各種専門家による相談体制を構築して住民の相談に応じ早期解決に取り組んでいる。

・他府県在住の特定空き家の所有者とは住所のみ判明のため通知だけでは解決に至らず、訪問し直接面談で対応して早期解決

決した。

・空き家をリフォームして貸し出す「お試し住居」の取り組みをしている。

### 公共交通

・3町1村の合併で、面積370km<sup>2</sup>の市域を美馬ふれあいバスとラクバスで運行しており、約8割の特別交付金が措置されています。

### 香川県坂出市

### 公共交通

・マイナンバーカード連携による市民割  
・QRコード利用のプリペイドカードによるキャッシュレス決済

・ゾーン制運賃を導入しており、基本運賃は500円  
・約3000万円の国庫補助金を活用して一般財源の圧縮に努めている。  
・政策部、政策課、公共交通係の係長が一人で担当している。

松井 圭子 議員

## 甲賀広域行政組合議会

令和8年3月27日(金)

全員協議会后、本会議

### 議案第3号

#### 火災予防条例一部改正

簡易サウナ設備を加え一般サウナ設備と区分。テント型サウナ3室、パレル型サウナ2室。いずれも甲賀市土山。一般サウナ設備の中で個室サウナ室に該当する施設は無い。

### 議案第5号

#### 令和8年度当初予算

歳入歳出それぞれ42億3441万1000円。職員は5人増の240人。

#### ■歳入(構成市負担金)

甲賀市は22億1931万6000円。

湖南市は11億6980万4000円。

#### ■歳出

消防費:24億9060万9000円

衛生費:11億5583万6000円

総務費:1億5289万3000円

公債費:4億3123万9000円

■令和8年度予算の要点は、消防・防災体制の強化を最優先し、衛生施設の安全運営と将来を見据えた投資を行う予算

議案第1号～6号

全員賛成で可決

副田 悦子 議員

## 公立甲賀病院組合議会

2月19日議会

### 議案第1号

#### 令和7年度公立甲賀病院組合一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ5039万7000円を減額し歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ29億3870万3000円とする。

全員賛成で可決

### ～議場見学を行いました！～

令和7年度 全小学校が議場を見学しました。どの見学でも活発な質問が飛び交いました。中には自分たちの学習をもとに議題解決の提案をしてくれることもありました。新年度からの議場見学も楽しみにしています。



## 代表質問



## 庁舎建て替えの選挙・住民投票、議会決定無し



市民とつなぐネット ● 坂田 政富 議員

**問** 市長は、東庁舎建て替え計画がコロナ感染で止まったと言われるが、事実は市民運動によって止まったのです。谷畑元市長、生田前市長、松浦市長は、庁舎の耐震補強か、建て替えかを選挙や、住民投票で一度も市民に問うことしないで、議会決定もせず、ゴールは初めから建て替えを決め込んできた。市長の一声で決定するものではありません。地方自治法89条2項の認識についておさきします。

**答** 庁舎整備基本計画は、法的効果を持たない行政計画で、自治法上の議決事件には該当致しません。選挙や住民投票で、建て替えか、耐震補強かについてと改めて問うことは考えていません。

**問** 89条2項は、「普通地方公共団体の重要

な意思決定に関する事件を議決し、並びにこの法律に定める検査及び調査その他の権限を行使する」と2023年に自治法改正で明確化された。庁舎整備基本計画は議会決定を必要とする重要案件です。

**答** 地方自治法上の議決事件には該当しません。

**問** 中央消防署移転事業費の支払い済み2,526万4000円は損失でしょう。今後5,536万円の清算で損失が増えるのではありませんか。契約内容を明らかにしてください。

**答** 契約額、甲賀広域行政組合消防本部の建物の設計業務、本市の執行分、用地補償、用地造成、分筆登記費用です。現在、契約済額は8062万円ですが、すべてが損失と確認していません。

代表質問



施政方針と教育方針



自由民主党湖南省議団 ● 小林 義典 議員

財政面より

**問** 当初予算を263億円とされているが、社会保障費や扶助費が増える中、事業の縮小や財源がひっ迫する事は無いのか。

**答** 社会保障費や扶助費が増えると事業の圧縮や財源がひっ迫するリスクが高まる可能性があるが、そのリスクを回避するために、歳出面では市民ニーズに的確に対応した施策への選択と集中を図り、財政の効率化、人件費や委託費の見直し、公共施設の有効活用など財政確保に努め、財政適正化判断比率や長期財政計画にある財政指数などの目標数値を意識しながら、健全な財政を保つことにより、市民サービスの低下を招くことの無いよう財政運営を進めて行きます。

予算方針より

**問** 最重要事業として、東庁舎周辺整備事業を上げており、歴代市長からの思いも引き継ぎ、前に進めようとしているが、改めて市民の皆様が「なるほど」と思える市長の心の内を聞かせてください。

**答** 私も含め3人の市長が舵取りを任せられ、その時々々の社会情勢や本市の状況を鑑みながら、本市の未来を描き、時代に沿った政策を打ち立て、個々の施策を進めてきました。庁舎整備事業を決断にあたっては考えることも多くあったが、市民や市議会の皆様から様々な意見を頂いたことにより、多くの方の支えにより前に進めて行く事を実感しています。

施政方針・教育方針について



こなんの未来 ● 奥村 幹郎 議員

「マツカヨカラー」について

**問** 第三次湖南省総合計画 新庁舎周辺整備について

**答** 「しぜん」とひとだまりができ、交流が生まれる新庁舎」とし、周辺エリアを一体として位置づけ、広い観点から景観や駐車場、市民の導線の実現を目指し事業を進めています。

工事着手に向け、粘り強く要望してまいります。まちづくりセンター等整備計画

**問** 下田まちづくりセンターについて

**答** 皆様のご意見をお伺いし、あらゆる人が使いやすい実施計画を進めてまいります。

観光と交流による活性化について

**問** こどもまんなかプラン 育て応援クーポン券交付事業について

**答** おむつやミルク等育児用品を購入できるように、乳幼児一人当たり3万8000円の商品券を保健センター窓口で子育ての状況聞きながらの交付をしています。

その他、教育方針について質問しました。

**問** 国道1号4車線化について

**答** 現時点で具体的な事業化の時期が示されていない状況ですが、関係機関と協議を重ね、早期実現に取り組んでいきます。

**問** 県道4号改良について

**答** これまでも県・甲賀土木事務所に対して、継続的に要望してきました。引き続き早期の

# 代表質問



## 令和8年度施政方針・教育方針について問う



会派 Kiku ● 永田 誠治 議員

### 令和8年度施政方針

**問** 市の財政状況と今後の財政見通しについて

**答** 歳入では、長期財政計画の大型投資的事業の推進および高齢化率の上昇、公債費、扶助費など、義務的経費の比率が高く、生産年齢人口の減少により大きな増収を見込めない状況と行政需要の拡大が予想されます。歳入の根幹となる市税など自主財源の将来を見据えた財政基盤の構築について。

**問** 地方自治体にとって将来を見据えた強固な財政基盤の構築ですが、短期的な収支バランスだけでなく、高齢化や社会保障費の将来的な支出増、景気変動や災害などのリスクに耐えうる持続可能で柔軟な財政運営の仕組みを作ることだと考えています。

**答** 歳出について、行

財政改革の徹底による歳出の削減で、安定的な財政運営に努めることとはどの様な改革か。

**答** 公共施設等総合管理計画個別施設計画に基づき、年次ごとの進捗をまとめ計画的な施設の管理運営を行い、ICTやAIを活用した業務改善により事務の効率化・簡素化をめぐってまいります。

### 教育方針について

**問** 教職員の資質向上と働き方改革およびハラスメントの防止について。

**答** 主幹教諭や学年主任などのミドルリーダーを中心とした組織的マネジメントの強化です。OJT研修を実施し、チームとして学校運営を支える力を高め、情報共有を行うことで学校全体の連携が強まり、教職員間の信頼関係構築につながります。



## 施政方針・教育方針について問う



湖南維新の会 ● 澤田 厚 議員

**問** 庁舎整備と公共施設総量の適正化について

**答** 公共施設の床面積の削減目標を現有面積より10万6000㎡、52・8%の減少と設定し、身の丈のあった施設の総量を目指しているところです。

**問** 小規模多機能自治の制度持続性について

**答** 事故・サービス低下時の賠償責任は、最終的に市が負うとの理解でよいか。

**答** 市の施設においては基本的な責任は、市にあると認識してまいります。

**問** DX推進の費用対効果について

**答** 業務時間削減効果は3500時間との資料が示されているが、これを人件費換算した場合の年間削減財政効果は。

**問** 年間約700万円の削減です。

**答** 教育施策の実効性検証について

**問** 教職員満足度・離職率など測定指標はあるのか。

**答** 教職員の健康状態や働きやすさを把握するため「有給休暇の取得日数」「ストレスチェックにおける『健康リスク値』」指標を活用することとした。



転載：厚生労働省ポスター

**問** 人口減少下の財政規律について

**答** 人口減少率が一定値を超えた場合の投資抑制ルールはあるか。

**答** 投資抑制ルールを設けてはいませんが、人口減少に備えた身の丈に合った公共施設の在り方や財政運営の考慮は必要。

代表質問

令和8年度施政方針・  
教育方針から



湖南省公明党議員団 ● 副田 悦子 議員

「ひとの流れの創出プラン」から

問 地方創生人材活躍事業について

答 地域における人材の発掘と活躍の場づくりを進めるため「市民人材登録制度」を推進します。市民自らが得意分野や提供可能な支援内容を登録することで、地域活動やまちづくりへの参加機会を広げるものです。あわせて学生など若い世代が参画できる機会の創出につながり、地域と若者がつながる場の形成も進めて行きます。また、行政、地域、各種団体、企業などの間に立ち、合意形成や継続した調整に有効な存在であると考えられる「中間支援事業のコーディネイター」の検討も進めていきます。

「学校教育における取組の三本柱」から

問 「らくらく勉強会」

の学習環境について

答 一部Wi-Fi環境が整っていない状況があり、必要に応じて施設所管部局との情報共有を図っていきます。

問 「子どもの権利」の学びについて

答 「湖南省学校・園人権教育基底プラン」に基づき学校教育活動全般の中で学習を進めています。しかしながら、十分でないという点があり、関係各所と連携しながら子どもたちの意見表明の場や社会参画の機会を創出し、一人ひとりが権利行使の主体者であり、かけがえない存在であるという自尊感情の醸成を進めていきます。

問 日本版DBSについて

答 4月から新規・継続採用者に誓約書で確認する手続きを行っています。

一般質問

市民のための公共交通を！



会派 Kiku ● 森 すなお 議員

公平な利用ができる  
ごみステーション

問 不公平を解消するための「標準ルール」は作成しましたか。

答 作成しました。

問 行政区自治交付金対象事業のうち、ごみステーション、消火栓ボックス、敬老会事業については検討すべき

答 補助金制度への移行も含め、必要な制度改正の検討を進めます。

問 不公平なサービス解消への取り組みは。

答 「標準ルール」を示すなどして、早期解決に向け取り組みます。

公共交通専門部署設置と部局間連携の充実

問 施政方針で示された「湖南省地域交通のブランドデザイン」について次の3点について質問します。

①「湖南省地域公共交通計画」との関係。

②市民が便利に利用できる公共交通の全体図なのか。

③「産官共創プラットフォーム」構築事業と「住民主体の移動支援モデル事業」も示すのか。

答 本市の交通・移動の将来像を俯瞰する全体図として、車に頼りすぎない暮らしの実現をめざし、ご指摘の事業も含め策定します。

問 公共交通専門部署の新設や部局間連携実への対応は。

答 公共交通対策等に特化した「(仮称)交通政策課」を都市建設部内に新設します。

また、庁舎整備などの「(仮称)市長特命プロジェクト推進室」と、公共交通のための「(仮称)地域移動支援統括室」をそれぞれ、総合政策部内に新設します。

一般質問



# 西庁舎周辺施設整備事業の 財源計画等を問う



市民とつなぐネット ● 寺元 正幸 議員

**問** 西庁舎周辺施設整備事業の財源計画について

**答** 現時点では、ワークシヨップを通じて意見交換し、必要な機能を整理している段階であり、解体費用を含めた財源見通し、施設整備方針は何ら決定していません。市民の声を聴く場については、昨年12月の石部中学校区における地域課題について考える会の開催に続き、3月に地域課題解決のワークシヨップ開催を予定しています。

**問** 湖南市所有財産の有効活用と今後について

**答** 旧石部地先の遊休地については、売却可能な条件が整い次第、財源確保、維持管理経費の削減の観点から、一般競争入札にて、売却手続きしています。市営住宅の現在利用状

態と今後の活かし方について、本市では9団地267戸を管理しています。老朽化の進行や将来需要を踏まえ、2040年までに供給目標を5団地168戸とする方針です。

**問** 湖南市自治会等の組織の実態と課題について

**答** 本市には、43の行政区と7つの地域まちづくり協議会があります。議員指摘のとおり、自治会において役員の担い手不足や退会される方、転入者の未加入、さらにはゴミステーションの利用に関する問題があります。これらの課題解決に、本市では様々な解決策に取り組みます。



# 類似の公共施設利用について



自由民主党湖南市議団 ● 上野 顕介 議員

**問** まちづくりセンターやコミュニティセンターなど利用目的が類似している施設においては、飲食等の利用方法に違いを設けないほうが良いのではないかと。

**答** まちづくりセンターもコミュニティセンターも同じように利用してもらうべきではないか。

**答** まちづくりセンターにつきましても、地域住民の文化サークル活動等を主な対象とした拠点施設として位置付けており、日常的な市民活動や地域活動の場を提供する施設です。

これに対し、コミュニティセンターは、地域住民の活動に加え、企業や各種団体など幅広い主体が利用できる施設として、会議や研修、交流イベントなど

多様な用途に対応することを想定した施設です。令和5年4月より、以前からまちづくりセンターとコミュニティセンターの類似施設について、利用者からのご意見ご要望などを受け、一部のまちづくりセンターをコミュニティセンターとし、各中学校区に配置するとともに利用基準の見直しも行ってきたところですが。

このような位置付けの違いを踏まえ、コミュニティセンターにおいては、さらに飲食を伴う催しにも対応できるものとなっており、利用に際しましては、衛生管理や他の利用者への配慮、使用後の清掃等に関するルールを徹底し、すべての利用者が安心して利用できるよう適切な運用に努めています。

## 市有地の草木管理と 市民サポートについて



会派 Kiku ● 田中 雄二郎 議員

**市有地の草木の管理について**

**問** 地域住民で管理しきれなくなった公園などの市有地の草木について

**答** 景観への配慮と生活環境への影響の軽減の両立を図るために管理サイクルとしており、高木については緊急性のある場合を除き、地域の意見に沿った管理に努めます。

**問** 電線に接触している草木による停電等の危険性と把握管理は。

**答** 日常の道路パトロールや地域からの情報提供等で状況は概ね把握しており、今後は占用者との情報共有や連携を図り対応します。

**問** 公園のコンクリート舗装で維持管理が軽減できないか。

**答** コンクリート舗装の利点は雑草対策など維持管理の軽減に繋がると理解しています。

ただ将来的な補修・更新費用の課題も想定されるため地域の実情にあった公園づくりを進めます。

**外国人市民に対するサポートについて**

**問** 生活ルールを伝えるための横断的なサポート、多文化共生推進プランの今後は。

**答** 市民課や税務課など5カ所にポルトガル語通訳職員を配属、また多言語対応のタブレットの配備や電話通訳も活用しており、今後も関連部署や国際協会、地域、企業と連携を図り、プランの成果指標『緊急通報訓練』の実施に向けた取り組みに努めます。

**問** 新庁舎整備に伴い多文化共生の専門部署の設置は。

**答** 新設の予定はありませんが、市民ニーズ等に応じ組織体制の見直しを図ります。

## 指定管理者任せでなく 最終責任は市が持つ!



無会派 ● 松井 けい子 議員

**問** 病児保育士は専門性と責任が求められるが、賃金や処遇は施設の自主努力に委ねられている。市の認識は。

**答** 国の子ども・子育て支援交付金を活用して実施。同じ交付金活用の学童保育所の指導員とは違い、処遇改善加算のメニューが明記されていない。また、保育士の履歴として加算されないため、キャリアや給与面から人材確保が困難。国および県の助成金や補助制度の活用を図り、関係機関と連携して、保育士の労働環境改善のための施策を模索します。

**問** 食品ロスは、主に焼却処分され、環境負担に繋がり、多額の財源も必要。削減の働きかけは。

**答** 広報誌やホームページ等により啓発を行っている。

**問** 野洲市の学童保育

所は社会福祉協議会が指定管理者となり、組織的な運営を構築。今回の不適切事案もあり、各施設の努力に委ねるのではなく、組織として健全に機能する仕組みが市の責任ではないのか。

**答** 指導員の採用を一元化し、人事異動や会計処理の透明性を高める組織的な運営体制は、事業の信頼性確保や質の向上に有効な手段と認識しています。

指導員の採用や人事配置の適正化、会計管理など調査徹底を行い、事業者と協議し、公正で透明な運営が実現できるように取り組みます。

**問** 移動支援ボランティアへの財政支援や制度的に支える仕組みづくりが必要では。

**答** 地域のボランティア移動支援活動を含め、具体的な支援制度を検討します。

一般質問



# 湖南市雪寒時の対応、 対策と選挙運営について



湖南維新の会 ● 東良 一成 議員

**湖南市雪寒時の対応、  
対策について**

**問** 融雪剤の散布場所、  
散布方法について

**答** 降雪時及び路面凍結が予測される際に、野洲川に架かる主要橋梁3橋を含む6橋に加え、市道7路線を対象として、専門業者4社へ委託し、計画的に散布を行っています。

**問** 凍結防止剤の散布場所、散布方法について

**答** 地元区や自治会の皆様のご協力のもと、地元区が指定する市内320箇所凍結防止剤を設置、地域の方々に散布作業を担っていただいています。

**問** 現状、凍結防止剤の散布について市民の皆様周知されていないので、雪寒時期、定期的に市民の皆様へ情報発信できないか。

**答** 今後は、これまで

の地域代表者会議での依頼に加え、広報紙やホームページ等も活用して発信を工夫し、引き続き地域と連携した安全確保に努めていきます。

**湖南市の選挙運営について**

**問** 市内選挙ポスター掲示場の設置数を減らすことはできないか。

**答** 県内の他市(大津市や甲賀市)では、各投票区における山林地区の占有面積等、その他地理的状況を踏まえ、法定数よりも数を減らしている状況もあります。自治体ごとの特別な事情がある場合に設置数を減じることができることから、本市においても人口動態の変化等を勘案して、適正な数のポスター掲示場の設置を検討していきます。

いじめ問題について



# いじめ問題について



自由民主党湖南市議団 ● 曾我部 一帆 議員

**いじめの現状と対応について**

**問** 令和7年度につきまして、12月末時点において小学校198件、中学校33件と、すでに昨年度末の件数を越えており、いじめ認知件数は近年増加傾向となっております。その要因として、いじめの積極的な認知を進めてきた結果と受け止めて

います。いじめの積極的認知は、いじめ問題の早期発見、早期解決につながり、いじめ問題の重大化を防ぐことにつながっていると捉えています。

**問** 相談体制について

**答** 「湖南市いじめ防止対策基本方針」に基づき、担任をはじめ、学年主任、生徒指導や教育相談担当教員、養護教諭等が日常的に相談を受けられる体制を整えています。他にも、

定期的なアンケート調査や教育相談週間を設け、児童生徒が自ら発信しやすい機会を確保しています。また、保護者からの相談につきましても、学校での相談に加え、教育委員会も相談に応じ、関係機関と連携しながら対応しています。

**問** 事案把握時の対応や体制について

**答** 「湖南市いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめ事案を把握した際には「迅速かつ組織的対応」を基本姿勢として取り組んでいます。中でも、いじめが起こってしまったときには「指導の三原則」を○正確・迅速な事実確認。○いじめられた児童生徒を守りきることを第一に。○徹底した再発防止を、速やかに。と定め、対応しています。

17 湖南市議会だより



## 市道十二坊線・地域医療・ 入札制度について



こなんの未来 ● 堀田 繁樹 議員

- 問** 市道十二坊線積雪時の通行止めに伴う影響と対策について
- 答** 道路幅が狭小の岩根地先へ大型車両が進入し、立ち往生した事案は把握しています。市道大谷線の起点から終点において、啓発看板や大型車両通行制限など公安委員会や地域関係者と協議して進めます。また、市内企業に対して、通行止め時の迂回ルートの案内を徹底します。
- 問** 地域医療について
- 答** 市立診療所の現状は、現在、3診療所で業務を実施中です。水戸診療所では小児科を、石部診療所では訪問看護ステーションを併設し、在宅医療支援体制を構築しています。夏見診療所は老朽化が課題。いずれも患者数は減少傾向で、収入減のため、一般会計からの繰入金が増加しています。
- 問** 休診中の岩根診療所についての対応は。
- 答** 昨年7月に岩根学区区長の皆様に状況報告。同年8月、県に再度医師派遣依頼をした結果、県内の医師数も余裕がなく、へき地以外への派遣は不可との回答でした。このため、再開は困難と判断し、閉院に向けて手続きを進める予定です。
- 問** 入札制度について
- 答** 原則、制限付き一般競争入札で実施しています。
- 問** 市内企業優遇について他市町の先進事例を見習うべきでは。
- 答** 市内企業への配慮について、業者育成や地域経済の活性化の観点から、市内優先発注実施方針制定を含めて検討していきます。



## 労働者問題と公共交通について



無会派 ● 東森 徹平 議員

- 労働者問題について**
- 問** 外国人労働者の保険加入、納税状態は。
- 答** 現在の外国人比率は8.07%。生活保護受給世帯数は267世帯うち外国籍は30世帯。市営住宅の入居状況は145世帯、256名うち外国人世帯は19世帯、41名。市営住宅使用料の滞納・未納は21件、うち外国人世帯は6件です。
- 問** 外国人支援政策と、既存企業や労働者との差について
- 答** 国や県の補助金、職業訓練や委託訓練など、本市の就労支援策は国籍によって違いはありません。
- 問** 親が子供の心配をせずにすむ秩序ある共生を目指すか。
- 答** 親が子を思う気持ちには国籍で変わるものではないと思います。互いの人権を認め合うまちづくりに取り組んでいきます。
- 公共交通について**
- 問** 公共交通問題解決のための乗務員確保について
- 答** 多角的な視点から検討中です。地域住民との連携による新たな移動支援の可能性も重要な選択肢です。制度設計や関係機関との協議、研究を進めます。
- 問** 地域型交通の取り組みについて
- 答** 幹線路線はバス運行を基本とし、利用者の少ない地域に小型車両を活用した交通体系が可能かどうか、調査・検討を進めます。
- 問** 地域住民との意見交換の場は。
- 答** 地域移動支援については新設する「地域移動支援統括室」を中心に取り組んでいきます。

一般質問



# 人口減少対策の子育て、観光、庁舎を考える



無会派 ● 藤川 みゆき 議員

**子育て支援について**

**問** 石部子育て支援センターと学童保育所のスペースを共用していることで支援センターとしては1日2時間しか使えず、長期休暇中は閉所になり、また相談室などが物置となつていきます。改善についての見解は。

**答** ご指摘のとおり、開館時間が短い点が課題と認識していますが、安心して相談いただける環境づくりに今後も努めていきます。

**歴史を活かした観光振興について**

**問** 文化財保存におけるヘリテージマネージャーの活用について。  
**答** 今後、歴史的建造物の調査を実施することになりましたら、ヘリテージマネージャーである方にも協力をお願いしたいと考えています。

**東庁舎周辺整備計画の費用について**

**問** 多額の起債に依存した投資を続けた結果、財政破綻をしている自治体があります。新庁舎の建設予算を見直し、2割削減した自治体もあります。125億円もの費用がかかる計画は見直す必要があるのではないかと。

**答** 現在取り組んでいる庁舎の実施設設計で精査を行い、可能な限り事業費の縮減に努めたいと考えています。

**東庁舎建設の後、医療施設を含む西庁舎周辺整備を行うのも財政的に無理があると考えますが見解について。**

**答** 西庁舎周辺整備にかかる施設の詳細や財源で決定しているものはありません。今後、市民の意見を伺って決定していきたいと考えています。



# 湖南市の地域医療について



会派 Kiku ● 松原 栄樹 議員

**問** 国・社会全体の医療体制は、地域医療の充実を最重要とされていますが。

**答** 市民の健康を支える医療体制として、疾病の予防や健康維持・増進のためとし、地域での医療提供体制の強化と医療・介護、予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括システムの構築を目指してきました。そして、高齢化社会に対応するため、訪問診療の強化などに取り組んできました。市内には医療機関が27カ所あります。市内医療機関からの聞き取りでは、様々な要因から通院されているの診療が大部分です。

**問** 今後の対応・課題は。

**答** 市立医療機関の医師の確保が難しく、また、高齢化による医療機関の継承についての不安もあります。市内

開業医をはじめとする医療機関の意見や県の動向を見ながら、また、他の自治体の取り組み事例も参考に、市民の健康を支える医療体制の構築に向けて取り組めます。

**体験学習について**

**問** 湖南市教育の中で、体験学習をどの様に取入れていきますか。

**答** 体験活動は貴重な学習機会であり、特に五感を働かせた自然体験、協調性や自律性を育む集団活動などの多くの学びを得るものと考えています。

**問** 市内宿泊体験施設は皆無です。今後の考えは。

**答** 雨山の研修館や体育館などの既存施設を、様々な体験学習の場としての利活用を。

**問** 10年先のことも、市内に象徴的なスタジアムの建設を夢みては、素敵なことです。

# 議 会 日 誌

- [1月]** 6日—広報広聴常任委員会
- 9日—議会運営委員会
- 14日—湖南省・甲賀市議会合同研修会
- 20日—産業経済常任委員会行政視察
- 21日—産業経済常任委員会行政視察
- 28日—福祉教育常任委員会行政視察
- 29日—福祉教育常任委員会行政視察  
総務常任委員会行政視察
- 30日—総務常任委員会行政視察
- [2月]** 4日—議員全員協議会  
議会運営委員会
- 6日—議員全員協議会  
2月臨時会
- 12日—広報広聴常任委員会
- 16日—議員全員協議会
- 17日—甲賀広域行政組合議員全員協議会
- 18日—議会運営委員会
- 19日—公立甲賀病院組合議会臨時会
- 20日—議員全員協議会  
本会議[3月定例会(1日目)]
- [3月]** 2日—本会議[3月定例会(2日目)]
- 3日—本会議[3月定例会(3日目)]  
議会運営委員会  
議員全員協議会
- 4日—本会議[3月定例会(4日目)]
- 5日—予算常任委員会
- 6日—予算常任委員会  
幹事会
- 9日—予算常任委員会
- 10日—予算常任委員会
- 11日—予算常任委員会
- 12日—総務常任委員会  
福祉教育常任委員会  
産業経済常任委員会  
広報広聴常任委員会
- 18日—広報広聴常任委員会
- 19日—本会議[3月定例会(5日目)]  
議会運営委員会  
議員全員協議会
- 23日—広報広聴常任委員会
- 24日—公立甲賀病院組合議会定例会
- 27日—甲賀広域行政組合議会定例会
- 30日—広報広聴常任委員会

## 令和8年6月議会定例会の仮日程をお知らせします

開会 **6月5日(金)**

閉会 **6月25日(木)**

<仮日程>

6月 5日(金) ■本会議 提案説明	6月17日(水) ~19日(金)
6月12日(金) ■本会議 一般質問	●委員会
6月15日(月) ■本会議 一般質問	6月25日(木) ■本会議
6月16日(火) ■本会議 一般質問	委員長報告
	採決

### ◇傍聴席では…

議場は、市政全般にわたる重要な事項を決定する場です。係員(議会事務局職員)の指示に従って、静粛に傍聴することになっています。

### ◇傍聴の申し込みは…

会議が開かれる当日に来ていただき、「議会傍聴受付書」に住所・氏名を記入してください。座席数に限りがありますので、団体での傍聴は事前に議事課へご連絡ください。  
※事情により日程が変更になることがあります。詳しくは、5月下旬ごろに議事課 ☎ 0748-71-2347 へお問い合わせください。

### 編 集 後 記

昨年から広報委員会は、広報広聴常任委員会となり、議会の広報活動に加え広聴活動も担う組織となっております。

広報活動・広聴活動ともに、時代の変化に合わせて、より多くの多様な市民の皆様との接続点となるための広報・広聴活動に挑戦してまいります。

広報広聴常任委員会委員 奥村幹郎

市ホームページで発行日(今回は4月21日)にお知らせが入ります。ぜひクリックしてご覧ください。

市内小中学校図書室にさわやかジャーナル(議会だより)を置くことになりました。

### <広報広聴常任委員会>

副田悦子委員長 田中雄二郎副委員長 奥村幹郎委員  
澤田厚委員 曾我部一帆委員 東森徹平委員